

当センターがアレルギー疾患の拠点病院に指定されました

この度、滋賀県立小児保健医療センターが滋賀県より「滋賀県アレルギー疾患医療拠点病院」に指定されました。

拠点病院とは、平成 26 年 6 月に成立したアレルギー疾患対策基本法の理念として掲げられている「アレルギー疾患を有する者が、その居住する地域にかかわらず等しく科学的知見に基づく適切なアレルギー疾患に係る医療を受けることができるようにすること」（アレルギー診療の均てん化）を目指して、国が各都道府県に指定するよう求めたものです。

当センターが指定されたのは、1)豊富な小児アレルギー疾患の症例数と診療実績、2)国際的にも評価されている滋賀県学童を対象としたアレルギー疫学研究、3)当センターが中心となって平成 25 年度から実施されている滋賀県小児アレルギー疾患対策推進事業の取り組みなどが、総合的に評価されたものと考えています。

拠点病院に求められる役割としては、1)診療、2)情報提供、3)人材育成、4)研究、5)学校や児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、支援、などが挙げられています。

当センターでは、過去 5 年間の滋賀県小児アレルギー疾患対策推進事業の実績を踏まえ、多くの職種の方々と協働して今後一層の県内アレルギー診療の充実、均てん化へ向けて取り組んでまいります。

診療科等のご案内

◆ 診療科目

小児科（総合内科・神経内科・アレルギー科）
こころの診療科（精神科）、整形外科、小児外科、眼科
耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

◆ その他の外来

予防接種、肥満、発達障害、ダウン症
臨床遺伝カウンセリング

- 内科系：頭痛、心臓内科、腎臓内科、内分泌・代謝科、血液・リウマチ科
- 外科系：泌尿器科、脳神経外科、形成外科

◆ 病床数 100 床

ご利用案内

◆ 外来診療

- 小児科（総合内科）を除き、原則として予約制です。
- 診療時間 午前 9 時 00 分～午後 5 時 00 分
- 予約受付時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時 00 分
- 休診日 土・日・祝日・年末年始

◆ 初診時の注意点

- 0～18 才未満の方を対象としています。

◆ 初診時に持参いただくもの

- 保険証（国保・協会健保・共済等）：受診時毎月提示してください。
- 母子健康手帳（乳幼児の場合・こころの診療科受診の場合）
- 医療券（公費負担をご利用の場合）

★予約直通電話：077-582-8425★

小児科（総合内科）は予約なしで受診していただけます。
診療受付は午前 11 時 30 分（月～金）までです。

地域医療連携室ご利用案内

- 受付時間 月曜日～金曜日
午前 9 時 00 分～午後 4 時 30 分
（土、日、祝日、年末年始は除く）
- 直通電話 077-582-6222
- FAX 番号 077-582-6276



滋賀県立小児保健医療センター（編集発行）

〒524-0022 滋賀県守山市守山五丁目 7 番 30 号

Tel : 077-582-6200

Fax : 077-582-6304

HP : <http://www.pref.shiga.lg.jp/mccs/index.html>



病院長あいさつ



今年の 4 月より藤井達哉前病院長の後を引き継ぎ着任した二見 徹です。重責を感じつつも、前向きに、できることから少しずつ積み重ねて行こうと考えています。皆さまどうぞよろしくお願い致します。

私は小児センターにて過去 3 年と 18 年、計 21 年間整形外科医として従事して参りました。はじめはセンターが開院した 1988 年に赴任しましたが、当時、田園地帯に立つ瀟洒な建物が印象的であったことを記憶しています。また、開院時は現在のそら病棟（学童病棟）のみ稼働しており、随分のどかな雰囲気だったように思います。早いもので、それから 30 年が経過しました。成人病センターは高層化ののち県立総合病院となり、一帯の景観も大きく変わりました。また、この間、患者様のニーズや求められる医療の内容も変化してきているため、現在、大幅なりニューアルを検討中です。今後、県民の皆様のご意見をもとに進めて参ります。

前置きが長くなりました。チャム&リリ vol.29 をお届けします。この号では今春よりセンターに新たに加わっていただいた新任医師の先生方の自己紹介をお伝えします。また、放射線科からは近年急速な進歩を遂げている CT 装置に関する記事を掲載いたしました。

チャム&リリでは、企画を工夫し、充実した内容で毎回情報発信に努めて参りますので、本年度も宜しくお願い致します。

（病院長 二見 徹）

3Dプリンター特集

今回は、放射線科の「3Dプリンター」をテーマに特集記事を組みました。

当院での活用方法についてご紹介します。

3Dプリントってご存知ですか？

ここ数年で3Dプリンターの性能の向上により様々な物が作れるようになってきました。当院においても3Dプリンターを用いて医療に活用しています。



腰骨・骨盤



背骨



股関節

3Dプリンターで骨の模型ができるまで

3Dモデル作成までは下記に示す3工程になります。

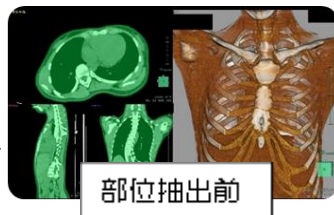
① CT撮影 ⇒ ②画像処理PCで加工 ⇒ ③3Dプリンターで印刷 ⇒ 完成
それぞれどのように行っているかというところ…

① CT装置を使って患者さんの情報を0.5mm間隔で撮影します。ここを細かく設定しないと詳細で滑らかなデータを得ることができません。



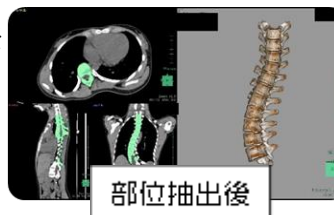
CT撮影

② ①で撮影したCTの画像データは皮膚・筋肉・臓器・骨など撮影した範囲全ての体情報を含むことになります。(緑色部分)



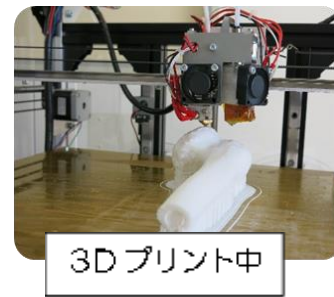
部位抽出前

この画像データから医師の要望を受けた部位(右図は背骨部)だけを抽出し、不要なところは削除していきます。



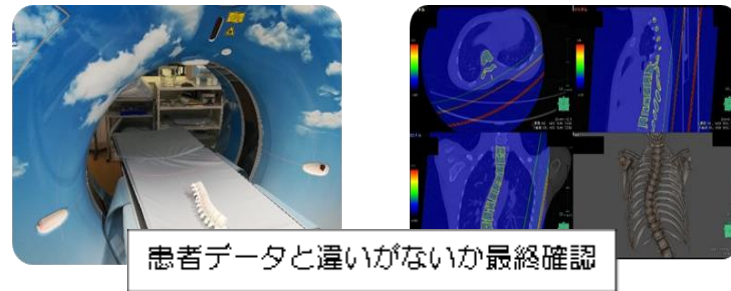
部位抽出後

③ 最後に②で作ったデータを3Dプリンターに読み込ませて印刷が終われば模型の完成です。



3Dプリント中

最終確認として出来上がった模型と患者のCTのデータで大きさ・形の違いがないことを確認します。模型のみのCT撮影を行い①で撮影したデータとFusion(合成)させてデータが一致すれば医師に渡し手術シミュレーションを行います。



患者データと違いがないか最終確認

3Dプリンターの活用について

当院では小児整形外科手術前シミュレーションでの3D作成を主に行っています。今までは2次元の画像上でのイメージしか出来なかったものが、3次元データとなることで情報を手に取って確認でき、手術器具を使ってシミュレーションすることが出来るので、手術時間の短縮や確実性を向上させることが出来るようになりました。

放射線科では、手術を受けられる患者様と、そのご家族がより安心してもらえるようスタッフ一同で3Dプリント技術をサポートさせて頂いています。

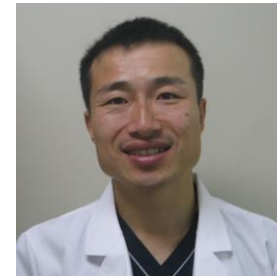


手術シミュレーション

新任医師の紹介



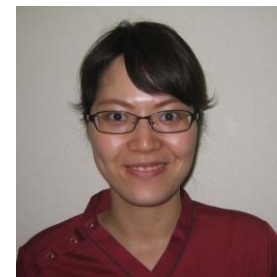
【氏名】
木田 英樹 (きだ ひでき)
【専門】
麻酔科
【ご挨拶】
外科系手術の充実を麻酔科の立場からサポートさせていただき、地域医療の貢献と他府県からの患者紹介に寄与したいと考えております。



【氏名】
金沢 佑治 (かなざわ ゆうじ)
【専門】
耳鼻咽喉科
【ご挨拶】
これまでの経験を活かして、患者さんの笑顔のために頑張ります。趣味は歩くこと、走ること、食べること、テニスで、最近ハマっているのはリフティングの練習です。



【氏名】
野坂 佑樹 (のさか ゆうき)
【専門】
整形外科
【ご挨拶】
患者様、御家族に寄り添った診療を致します。



【氏名】
三輪 晶子 (みわ あきこ)
【専門】
整形外科
【ご挨拶】
京都から来ました。初めてのことでご迷惑をかけると思いますが、精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



【氏名】
森 篤志 (もり あつし)
【専門】
小児科
【ご挨拶】
一日一生